

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-63925

(43) 公開日 平成10年(1998) 3月6日

(51) IntCl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 7 F 7/12			G 0 7 F 7/08	B
G 0 6 K 17/00			G 0 6 K 17/00	L

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平8-260071

(22) 出願日 平成 8 年(1996) 8月26日

(71) 出願人 596142177

有限会社アイム

茨城県北相馬郡藤代町谷中481-46

(72) 発明者 堀江 淳一

茨城県北相馬郡藤代町谷中481-46

(54) 【発明の名称】 クレジットカード番号の暗号化を必要としないインターネット上でのクレジットカードによる決済 システム。

(57) 【要約】

【課題】 インターネット上でのみ使える個々の会員のIDを予めカード会社とカード会員の間で決めておきこれを決済に使うことにより、暗号を使わずにクレジットカードによる決済ができるシステムを提供する。

【解決手段】 カード会社2は、個々のカード会員3にインターネット専用のID1を配布し、カード会員3に確認用電子メールアドレス5を登録させる。カード決済時カード会員3は、インターネット専用のID1と電子メールアドレス5をカードの加盟店4に伝える。加盟店4は上記ID1と電子メールアドレス5をカード会社2に知らせ承認を依頼し承認が下り次第取引きは成立となる。



## UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

UNITED STATES DEPARTMENT OF COMMERCE  
United States Patent and Trademark Office  
Address: COMMISSIONER FOR PATENTS  
P.O. Box 1450  
Alexandria, Virginia 22313-1450  
www.uspto.gov



Bib Data Sheet

CONFIRMATION NO. 2265

<b>SERIAL NUMBER</b> 10/622,058	<b>FILING OR 371(c) DATE</b> 07/17/2003 <b>RULE</b>	<b>CLASS</b> 705	<b>GROUP ART UNIT</b> 3621	<b>ATTORNEY DOCKET NO.</b> SOM919980031US2
------------------------------------	---	---------------------	-------------------------------	---

**APPLICANTS**

Mark Linehan, Yorktown Heights, NY;

**\*\* CONTINUING DATA \*\*\*\*\***

This application is a REI of 09/221,869 12/29/1998 PAT 6,327,578

**\*\* FOREIGN APPLICATIONS \*\*\*\*\***

Foreign Priority claimed <input type="checkbox"/> yes <input checked="" type="checkbox"/> no	<b>STATE OR COUNTRY</b> NY	<b>SHEETS DRAWING</b> 10	<b>TOTAL CLAIMS</b> 6718	<b>INDEPENDENT CLAIMS</b> 18
35 USC 119 (a-d) conditions met <input type="checkbox"/> yes <input checked="" type="checkbox"/> no <input type="checkbox"/> Met after allowance	<b>EXAMINER'S SIGNATURE</b> <i>[Signature]</i>	<b>INITIALS</b> <i>[Initials]</i>		
Verified and Acknowledged				

**ADDRESS**

58776

**TITLE**

Four-party credit/debit payment protocol

<b>FILING FEE RECEIVED</b> 1824	FEES: Authority has been given in Paper No. _____ to charge/credit DEPOSIT ACCOUNT No. _____ for following:	<input type="checkbox"/> All Fees <input type="checkbox"/> 1.16 Fees ( Filing ) <input type="checkbox"/> 1.17 Fees ( Processing Ext. of time ) <input type="checkbox"/> 1.18 Fees ( Issue ) <input type="checkbox"/> Other _____ <input type="checkbox"/> Credit
--	---	--

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】インターネット上の決済の際に、クレジットカードのカード番号を暗号化したものを使わずに、クレジットカードによる決済を行うシステム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、インターネット上でクレジットカードを決済手段として利用する方法に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来、インターネット上で通信販売などの取引を行う際の決済手段として、クレジットカードを利用しようとする、支払元はクレジットカード番号を支払先に通知しなければならない。しかし、この番号はハッカーなどにより他人に知られると不正に使用される恐れがあるため、それを防ぐためにカード番号等の取引情報を暗号化して送る方法が考えられている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしこの方法には次のような問題がある。

- (イ) 送り手(カード会員)にとって情報(カード番号)を暗号化する手順が煩わしい。
  - (ロ) ハッカーが暗号化した情報を解読した場合は、不正使用が行われる危険がある。
- そこで本発明は、基本的には暗号化が不要で、通常の電子メールのやり取りと同じ方法でクレジットカードによる決済ができるように、前述の問題点を解決する方法を提供することを目的としている。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明は、インターネット上でのみ使える個々の会員のID番号及び記号を、あらかじめカード会社とカード会員との間で決めておき、これを決済に使う。そして、インターネット上でカード会員と加盟店との取引(通信販売/情報の提供/金銭の貸借)に関する全ての送付先をカード会社にあらかじめ登録されている送付先とする。もし取引時に会員が送付先を変えたい場合は、その旨を支払先(加盟店)に通知する。カード会社は会員の電子メールアドレスにより確認作業を行い諾否の判断をする。本発明は、以上のような方法よりなるインターネット上の決済のシステムである。

## 【0005】

【発明の実施の形態】このように、インターネット上でのみ使える個々の会員のID番号及び記号を、あらかじめカード会社とカード会員との間で決めておき、これを決済に使う事により、クレジットカードのカード番号を使わずにクレジットカードによる決済を行う事ができる。以下、本発明の実施の形態を実施例にもとづき図面を参照して説明する。事前処理として図1のように

- (イ) カード会社(2)は、個々のカード会員(3)に

インターネット専用のID番号及び記号(1)を配布する。

(ロ) カード会員(3)は、確認用の連絡先として、その電子メールのアドレス(5)をカード会社(2)に登録しておく。

(ハ) カード会社(2)とそのカードの加盟店(4)は、クーリングオフ制度に関する取り決め(6)をする。また、カード会員(3)と加盟店(4)との間の取引として図2のように

- 10 (イ) カード決済の際には、支払元(カード会員)(3)はインターネット専用のID番号及び記号(1)と電子メールアドレス(5)のみを支払先(カードの加盟店)(4)に知らせる。

(ロ) 加盟店(4)は上記ID番号及び記号(ハと電子メールアドレス(5)カード会社(2)に知らせ、承認を依頼する。

(ハ) カード会社(2)の承認が下り次第取引は成立となる。

- 20 (ニ) - a 商品の送付の場合、その送付先は、カード会社にあらかじめ登録されている当該会員の住所となる。

(ニ) - b 情報の提供の場合、カード会社に登録されている電子メールアドレスに送付される。

(ニ) - c 金銭の貸借の場合、カード会社に登録されている取引口座に送金される。

また、会員が取引時に送付先等を変更したい場合は、電子メールアドレスによりカード会社からの確認作業が行われる。

## 【0006】

- 30 【発明の効果】本発明は、以上のような方法を探る事で、支払元(会員)は、通常の電子メールと同じやり方で注文をすることができ、インターネット上でハッカーが第三者の当該ID番号及び記号を使用したとしても、商品や情報・金銭は正規の会員宛送られるので、ハッカーに実利はなく、会員は注文していないものが来た場合は、クーリングオフ制度により救済される。またハッキングにより第三者が当該ID番号及び記号を知ったとしてもインターネット上での使用以外では意味をなさない等、不正使用を防ぐのみならず、送り手(カード会員)にとって情報を暗号化する手間を省く効果がある。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の事前取り決め図

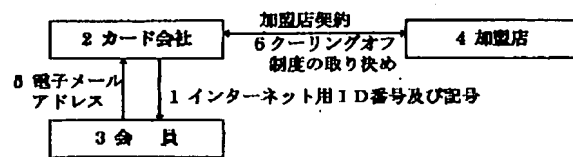
【図2】本発明の利用フロー図

【図3】本発明の支払フロー

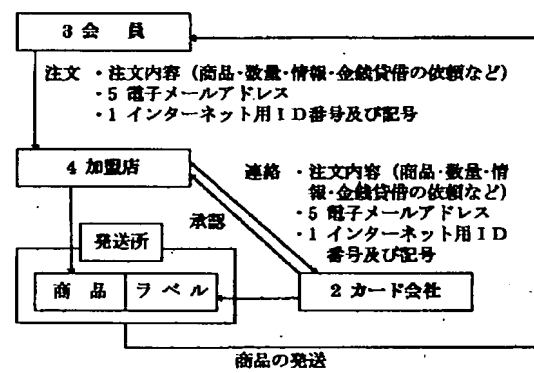
## 【符号の説明】

- 1 インターネット用ID番号及び記号
- 2 カード会社
- 3 会 員
- 4 加盟店
- 5 電子メールアドレス
- 50 6 クーリングオフ制度の取り決め

【図1】



【図2】



【図3】

